

シラバス

授業科目	薬品分析化学特論		
(英 文 名)	Advanced Analytical Chemistry		
担当教員	鶴田泰人 他		
単位数(期別)	1(後)	対象学生	1・2MP

■授業のねらい・概要■

臨床化学分析や薬学分野分野で利用される代表的な高感度分析法に関する基本的知識を修得する。

■授業(学習)の到達目標■

- 1 代表的な分光学的分析法を列挙し、その分析法の原理を説明できる。
- 2 代表的な分離分析法を列挙し、その分析法の原理を説明できる。
- 3 代表的な前処理法を列挙し、その原理を説明できる。
- 4 生物学的製剤について列挙し、その説明ができる。
- 5 生物学的製剤、特に血液製剤の製造工程を説明できる。
- 6 血液製剤で行われている検査項目を列挙し、製剤の安全性に貢献できる限界を理解する。またこの限界を超えるにはどうしたら良いかを考える。
- 7 薬学分野で利用されている代表的な分析法を列挙し、その原理を説明できる。

■回数ごとの授業内容■

- 1 生物学的製剤(1)、概要(講義とディスカッション)(小嶋英二郎)
- 2 生物学的製剤(2)、血液製剤の安全対策(講義とディスカッション)(小嶋英二郎)
- 3 生物学的製剤(3)、安全性に関する討論(講義とディスカッション)(小嶋英二郎)
- 4 分光学的分析、ドライケミストリー(鶴田泰人)
- 5 研究に実用している分析法(1)、概要(井上裕文)
- 6 研究に実用している分析法(2)、機器分析(発表・討論)(井上裕文)
- 7 研究に実用している分析法(3)、前処理(発表・討論)(井上裕文)

■成績評価の方法・基準■

出席並びにレポートによる。

■使用テキスト■

なし

■参 考 書■

なし